

## HbA1cとは？

ヘモグロビンは赤血球内のタンパク質の一種で、全身の細胞に酸素を送る働きをしています。血液中のブドウ糖がヘモグロビンとくっつくと糖化ヘモグロビンになります。



血糖値が高いほどヘモグロビンに結合するブドウ糖の量が多くなります。 いったん  
糖化したヘモグロビンは、赤血球の寿命(120日)が尽きるまで元には戻りません。

